

# 株主通信

## 平成24年度中間報告書

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

第65期

- ご挨拶
- ピーエス三菱グループのCSR活動
- トピックス
- 完成工事（土木）
- 完成工事（建築）
- 連結決算の概要
- 会社情報
- 株式情報

医療法人芙蓉会 村上病院（青森県）





## CONTENTS

- ご挨拶…………… 1・2
- ピーエス三菱グループのCSR活動… 3・4
- トピックス…………… 5・6
- 完成工事（土木）…………… 7・8
- 完成工事（建築）…………… 9・10
- 連結決算の概要……………11・12
- 会社情報……………13
- 株式情報……………14

### ●表紙の説明

村上病院は青森中央インターチェンジ近くにオープンした総合病院で、旧病院施設の老朽化や地域の医療ニーズに応えるため、移転新築されました。

建物は鉄骨造地上5階建て、延床面積は9,088.77㎡（約2,749坪）あり、1階は一般内科、消化器内科、循環器内科や整形外科等8つの診療科の外来診察室や検査室、2階は手術室やスタッフルームとなっております。3階から5階までは入院病室やリハビリ等の回復室で、一般病棟80床、回復期リハビリテーション病棟40床の合わせて120床すべてが個室になっており、それぞれの部屋が個性をもつデザインとなっております。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

まず事業報告に先立ちまして、弊社は本年10月1日をもちまして創立（合併）10周年を迎えることができました。今日までの株主の皆様並びに関係者の皆様のご支援に感謝申し上げるとともに、これからも、建設業者の使命として、震災の復旧・復興に貢献することはもとより、『CSRの確立、安全・品質の確保、技術の伝承』を重点課題として取り組んでまいります。また、諸先輩方々から脈々と受け継がれてきた伝統を守り、PC（プレストレスト・コンクリート）技術のパイオニアとして確固たる地位を継続していきたいと思っております。

さて、当連結会計年度における建設産業は、東日本大震災の復旧復興関連事業が本格化することが見込まれ、復興関連工事等、公共部門は堅調に推移すると考えられます。しかしながら、世界経済の減速や原発事故以降の電力問題等により民間設備投資等の国内建設需要に対する大きな改善は期待できず、原材料費・労務費高騰等の建設コストの上昇による採算悪化も懸念材料となっております。厳しい環境が続いております。

このような経済状況のもと、弊社はPC技術を基軸とした総合建設業として、橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木事業」と民間工事を中心とする「建築事業」を2本柱として、PC技術の適用範囲を広げて新しい分野を開拓することで、企業競争力を高め、外的環境の激しい変化に対応しながら、「我が国トップのPCゼネコン」を目指して取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の連結受注高は、526億360百万円（前年同期329億290百万円 前年同期比59.8%増加）となりました。連結売上高につきましては、期初の想定より消化高が減少したことにより385億810百万円（前年同期380億140百万円 前年同期比1.5%増）となりました。損益の状況につ

きましては、建築工事の一部で労務費等の高騰により工事採算が悪化したことから、連結営業損失6億41百万円（前年同期は営業損失2億15百万円）、連結経常損失7億32百万円（前年同期は経常損失3億65百万円）、連結純損失8億95百万円（前年同期は純損失3億4百万円）となりました。

なお、中間配当金につきましては、政治・経済が不安定なことにより建設業界の先行きに不透明感がありますことから、無配とさせていただきます予定です。無配となることにつきまして深くお詫び申し上げます。

現在、損益悪化要因を把握し、各部門にてリカバリー策を策定して、改善対処している最中であり、リカバリー策としては、次の施策に取り組んでおります。

- ①受注管理の徹底
- ②原価管理の徹底
- ③施工・品質・安全管理の強化
- ④販管費の削減徹底
- ⑤東北地区の体制強化

以上の施策を重点的に取り組んで業績挽回を目指すと共に、今後の震災復興事業の本格化に向けて取り組みたいと思います。具体的には、構造物の新設工事はもちろん、維持補修分野においては、「橋守プロジェクト」として今後増加することが見込まれる耐用年数を経た橋梁に対応した、構造物の長寿命化を目指し、橋梁床版取替や電気防食等の維持補修技術の強化を図ります。また、震災被災地域や大地震が予測される地域を中心に人工地盤、津波避難タワー等を提案いたします。さらに、リニューアル工事にも注力し、土木においては、既にその耐震性・耐久性が実証されている橋脚補強PCコンファインド工法を積極的に提案いたします。建築においては、当社が開発したPCaPC（プレキャスト・プレストレスト・コンクリート）外付けフレーム耐震工法は、建物を使用しながら施工できることから、学校、病院等の耐震補強に大

変有効であります。近年、PC建築の特徴である耐震性や長寿命化が各方面で注目され潜在ニーズが高まってきており、ヨーロッパではPCの用途は土木のみならず建築への用途も数多くあることや、地震国でもある日本の国情を勘案すれば、PC建築は今後さらに普及していくものと考えております。また、今後の成長戦略の一つとして検討している海外事業に関しましては、経済発展が著しく期待されている新興国のインドネシア、ベトナムに弊社グループとして操業しておりますPC工場を中心に事業展開を手掛けてまいります。

当社の使命は自然災害に強い国土を造って将来に残すことであります。公共工事に対する国民的なコンセンサスも醸成されつつあり、当社グループが活躍できる分野は数多くあります。コンプライアンスを徹底し、リスクを適正に管理して健全経営に努めるという「基本的な社会責任」を果たしながら、建設業という本業を通しての積極的な社会貢献を行ってまいりますと存じます。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
社長執行役員

勝木 恒男



当社グループは、平成22年度より同一の目標を掲げてCSR活動を推進していく体制に移行することで、グループのベクトル合わせを目指してまいりました。今年度もグループ全体として、以下のCSR目標を掲げてPDCA（計画・実行・評価・改善）を実践することで、CSR活動のさらなる充実を図っております。

### ◆平成24年度CSR目標

#### ●有効な内部統制システムによるマネジメントの実践

- ・ リスクマネジメントの強化
- ・ コンプライアンスの徹底

#### ●ステークホルダーコミュニケーションの実践

- ・ CS（お客様満足度）の追求
- ・ 取引先と取り組むCSR活動
- ・ 株主とのコミュニケーション拡充
- ・ 働きがいのある安全な職場環境の構築
- ・ 地域社会への貢献活動の推奨

昨年度までの25項目の推進活動項目については、より現場に即した評価対象として捉えることを目的に、顕在化したリスクと既に周知されたリスクに対して、評価対象項目の追加並びに表現の修正を行い27項目といたしました。この推進活動項目について、四半期ごとに各部署が自己評価を行い、本社・支店・関係会社各CSR委員会でこれらを審議・評価し、浮かび上がった課題について随時改善をまいりました。

### ◆リスクマネジメント活動

リスクマネジメント活動において、部署ごとに以下のリスクへの対策としてリスクマネジメント推進活動報告書を作成し、四半期ごとに実施状況をCSR推進活動評価表に記載の上、PDCAを実施することで、リスクの回避、発生確率の低減および被害規模の低減を図っております。

- ・ 厳しい受注環境におけるノルマ達成のために生じるリスク
- ・ 工事施工における各種リスク
- ・ 不祥事等が職場内で埋没するリスク

## ◆コンプライアンス活動

○以下の研修会を実施いたしました

- ・役員向けコンプライアンス研修会

7月11日 42名（関係会社役員含む）

- ・営業担当者向けコンプライアンス研修会

7月25日、26日 360名

役員向けには、「最近の事例で改めて考える、コンプライアンス・CSRと役員の役割」を、営業担当者向けには、受講対象を営業のみならず工務・設計の受注業務担当者に拡大して、「独禁法」を中心に業界団体への参加、JV結成における注意点等、具体事例を交えて外部講師による講義を実施いたしました。



○関係会社役員セミナーを実施いたしました

企業におけるコンプライアンスやCSRの重要性が高まっていることに伴い、非公開の会社においても法令を遵守し、リーガルリスクを回避するために最大限の努力をすることが当然の義務となっております。特に取締役においては、善管注意義務の重要性などを認識して日常業務を遂行していく必要があるため、関係会社の役員に対する社内セミナーを開催いたしました。

9月25日 関係会社各社 役員、管理（総務）部長 12名



## ◆コミュニケーション活動

○CSR報告書2012

ステークホルダーの皆様にご覧いただくため、当社ホームページに掲載しておりますのでご一読下さい。

（ホームページアドレス：<http://www.psmic.co.jp/>）







### 綾瀬川水戸橋（コルティー工法）がプレストレストコンクリート技術協会賞（技術開発部門）を受賞

綾瀬川水戸橋は、東京都葛飾区を流れる一級河川綾瀬川に架かる水戸橋に替る橋梁として、平成23年度に完成したプレストレストコンクリート（PC）橋です。

本橋には、桁高制限への対応、軽量化および経済性が求められました。そのため、従来のT桁のコンクリートウェブを波形鋼板に置き換えた構造である波形鋼板ウェブPCT桁、すなわちコルティー工法（弊社開発技術）が採用されました。

本工法は、平成17年に完成した曾宇川橋を皮切りに、本橋以前に国内で3橋に採用されてきました。これらの橋梁は、支間24mまでを対象としたプレテンション方式でしたが、本橋は支間38.7mとなるポストテンション方式が採用された国内初の事例です。

そのため本工事では、設計・桁製作・桁架設に対して様々な技術的検討を実施しました。これらの新しい構造形式の創造に貢献した点が評価され、受賞につながったものです。



## PC橋桁端狭あい部の調査・補修工法【NSRV工法】

伸縮装置の損傷等により発生する漏水は、桁端部コンクリートの損傷を促進させます。特に凍結防止剤が散布される地域で建設されるポストテンション橋梁においては、桁端部が塩害および凍結融解作用等を繰り返すことにより、PC鋼材の定着部を劣化させることになりかねません。このような現状を踏まえて、PC橋桁端狭あい部の調査手法および補修方法の開発を行いました。主な内容は以下のとおりです。

- ① ビデオスコープによる狭あい部コンクリート表面の調査技術
- ② 桁端狭あい部コンクリートの塩化物イオン含有量の調査技術
- ③ 桁端狭あい部におけるハツリ方法
- ④ 塩分吸着剤を添加し、早期強度を確保できる断面修復材の開発

山形自動車道の上蔵王橋等で試験施工を終え、今後の営業活動が期待されております。

本工法は東日本高速道路(株)、(株)ネクスコ・メンテナンス東北、(株)ネクスコ・エンジニアリング東北、三菱マテリアル(株)との共同開発です。



ビデオスコープカメラ



塩分調査試料採取装置



補修前



補修完了後

## ピーエス三菱PCaPC外付けフレーム耐震補強工法の適用範囲の拡大

「ピーエス三菱PCaPC外付けフレーム耐震補強工法」は、平成16年12月に(財)日本建築防災協会より耐震性を向上できる補強工法として技術評価を受けて以来、約80棟の耐震補強の実績を重ねてきました。この度、これまで補強が困難であった10～12階程度の中層建物や、靱性能（建物の変形能力）が比較的大きいが強度が小さい建物の補強を、合理的に行えるよう、同工法の適用範囲を拡大するための構造実験を実施いたしました。

今後は、(財)日本建築防災協会の技術評価内容を改定し、耐震補強を推進していくことで積極的に社会資本の維持に取り組んでいく予定です。



ピーエス三菱PCaPC外付けフレーム耐震補強工法



外付けフレーム耐震補強の構造実験



### 北陸新幹線 上越軌道スラブ製作運搬（新潟県）

北陸新幹線は東京を起点として、長野、上越、富山、金沢の主要都市を經由し大阪に至る総延長約700kmの路線です。このうち、高崎～長野間が平成9年10月に長野オリンピックの開催に合わせて開業いたしました。長野より先の区間（長野～金沢間）につきましては、土木工事がほぼ完成し、現在は平成26年度末の完成に向けて軌道工事や駅舎等の建築工事が進められております。

本工事で製作している軌道スラブとは、標準版で4.9m（長さ）×2.2m（幅）×0.19m（厚さ）、重量が約5.0t（1枚当り）となっています。在来線等で使われている砕石道床の上にくらぎを並べレールを敷設する構造（バラスト軌道）では、列車荷重により道床が崩れレールが歪むのを防ぐために多大な労力を要します。このため、新幹線の高速走行時の安定性確保、および省メンテナンスの実現を目指して、軌道スラブの上にレールを固定する構造（スラブ軌道）となっております。上越軌道スラブは、新潟県上越市付近の約40km区間の16,099枚を当社七尾工場（石川県）で製作し運搬を行いました。特に運搬については、多いときには1日に100枚以上の運搬が予想されたため、上越市内に軌道スラブ仮置きヤードを設けることで製作・運搬作業を円滑に進めることができ、平成24年6月に工事を完了いたしました。



### 平成22・23年度 上施工第2号 第1（三宅）浄水場耐震整備工事（京都府）

京都府亀岡市に位置する三宅浄水場は、昭和43年に建設され、亀岡市上下水道部によって管理運営されている施設であり、市内を流れる桂川付近から取水した原水を最大で1日20,000m<sup>3</sup>を処理し、亀岡市の各配水池に送水されております。

三宅浄水場においては、ライフライン機能強化事業に伴い、基幹水道構造物の耐震化事業として、平成22年より23年度にかけて補強工事を施工し、平成24年3月末に完成いたしました。

本工事は、既設の地下浄水場を解体し、新設浄水場の工事を行い、浄水場内の水道管（直径500mm）の撤去新設を繰り返し、切替えながら配管しました。

設備管理棟は、耐震補強、耐震壁の改修を行い、棟内の電気計装設備、水質計器設備、薬液注入設備は移設と新設を行い、送水ポンプ設備（95Kw）は送水能力を向上するため、オーバーホールを行いました。

供用中の上水道施設の中での作業であり、衛生面には特に注意が必要でしたが、安全かつ適切な処置により、予定通り工事を完了することができました。





## 国道313号（倉吉道路）橋梁床版工事不入岡高架橋（P12-A2）（鳥取県）

国道313号倉吉道路は、地域高規格道路「北条湯原道路」の一部区間であり、完成すると片側2車線の自動車専用道路です。高速幹線道路ネットワークの形成を目的に整備を推進しており、鳥取県中部地方生活圏から中国横断自動車道へのアクセス性が向上するとともに、基幹道路である一般国道9号へ北条倉吉道路を介し連結することで、救急医療の支援、線形不良区間および交通渋滞の解消、地域の観光および物流交通時間の短縮に大きく貢献する整備効果が期待されております。

平成9年に事業開始してから50kmの区間中15kmが供用を開始しており、本橋梁を含む区間である「倉吉IC」～「倉吉西IC」（4km）が今年度開通に向けて施工されております。

本橋梁は、倉吉大橋を含む589mの連続高架橋の一部である4径間連続鋼少数主桁鈹桁橋の上部工、場所打ちPC床版を施工いたしました。

主桁と床版が分離発注された工事で主桁架設の遅延に伴い、積雪の多い冬季に場所打ち床版を製作することとなり、コンクリートの品質を確保するため、保温湿潤設備を充実させ降雪、凍害から守ることで良質なコンクリート床版橋を完成させております。



## 第二東名高速道路 生平橋他2橋（PC上部工）工事（愛知県）

第二東名高速道路は、従来の東名高速道路とのダブルネットワークにより渋滞の緩和、気象条件の変化や事故等による通行止めの場合においても、もう一方で通行が可能となる重要な路線です。伊勢湾岸自動車道や新名神高速道路等と連携し、三大都市圏を結ぶ新しい大動脈として大きな期待がかかっております。

生平橋は、愛知県岡崎市生平町に位置する高速道路の本線橋で、構造形式は3径間連続PRC箱桁ラーメン橋です。最大支間が144mと比較的長いことから自重の軽減のため主桁ウェブに波形鋼板を採用いたしました。

建設地点が県道および河川上かつ急峻な地形なため架設方法は、片持式移動作業車を用いた張出架設工法にて施工し、平成24年5月に完成いたしました。





### 有料老人ホーム アリア高輪（東京都）

アリア高輪は、都内有数の高級住宅街である港区高輪の閑静な高台に位置し、2駅の利用が可能で交通も大変便利な立地条件にある有料老人ホームです。

鉄筋コンクリート造・地上4階建て、延床面積2,370.97㎡（約717坪）45室47名定員となっており、当社が設計・施工いたしました。北側の中庭にはウッドデッキ敷きの通路があり、植栽の中を散歩できるようになっております。外壁は、45二丁掛タイル貼りで周りの住宅街と調和した白色基調の色彩計画を施しております。内部の仕上げは、高級住宅街の中にあって高級感と落ち着きのある色調を配したデザインとなっております。



### 有料老人ホーム ネクススコート愛宕（宮城県）



ネクススコート愛宕は仙台市中心部にあり、交通の便が大変良く、また広瀬川のせせらぎも聞こえる自然環境にも恵まれた立地に建設されたモダンな有料老人ホームです。

建物は鉄筋コンクリート造・地上6階建て、延床面積4,246.84㎡（約1,285坪）となっており、1階はエントランスホールやコミュニティホール、2階から6階が老人ホーム86室92名定員の居室となっております。また、2階には天然温泉『愛宕の湯』、6階の外部テラスには、足湯も設置されています。

建物の安全性やバリアフリー、居室の床暖房施設などの住宅設備も充実しており、入居される高齢者に配慮された建物となっております。

## 独立行政法人物質・材料研究機構 NanoGREEN/WPI - MANA棟（茨城県）

※PC躯体工事

本物件は、茨城県つくば市にある独立行政法人物質・材料研究機構内に位置する研究施設で、PCaPC造地上6階建てのNanoGREEN棟とWPI-MANA棟の2棟を、6層吹き抜けの鉄骨造によるアトリウムで接続した建物となっております。

当社はPC躯体工事を一式で請負い、PCaPC部材総重量約11,800tの柱・梁・床版を、子会社であるピー・エス・コンクリート(株)茨城工場で作りました。

なお、本物件は環境に配慮した建物であり、かつ、研究施設内の施工であることから、PCaPC造の組み立ては、大型タワークレーンを各棟に配置し、騒音・振動を低減する事に努めました。

各棟同時施工を行い、PCaPC造の特徴である短工期で施工を終えることができ、高耐久・高品質な建物を実現いたしました。



## 九州学院百周年記念体育館（熊本県）

※PC躯体工事



熊本市で中高一貫教育を行っている九州学院は、創立百周年記念事業の一環として本体育館を建設しました。1階には空手道場・ボクシング場・部室等が配置され、2階はバスケットボール・バレーボール・バドミントンのアリーナとなっております。アリーナの大空間を確保するために2階より上部はPCaPC工法が採用されました。桁行方向のスパン長を2.2mと短くし門型フレームを連続させたジョイント梁構造で、スパン方向は20mの大スパンとなっております。柱・梁は現場打ちでは精度を確保するのが難しいT形の特殊な断面でしたが、PCaPC工法により高品質で高耐久な建物とすることができました。



## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第64期期末 (平成24年3月31日)	第65期第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日)	科目	期別	第64期期末 (平成24年3月31日)	第65期第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日)
<b>流動資産</b>		<b>52,188</b>	<b>40,644</b>	<b>流動負債</b>		<b>43,760</b>	<b>33,614</b>
現金預金		9,849	7,879	支払手形・工事未払金等		27,929	20,652
受取手形・完成工事未収入金等		36,398	24,509	短期借入金		9,126	5,424
未成工事支出金		2,440	4,236	未払法人税等		160	252
その他のたな卸資産		1,651	2,208	未成工事受入金		3,080	3,978
繰延税金資産		8	17	賞与引当金		139	147
未収入金		1,646	1,327	完成工事補償引当金		183	210
その他		351	577	工事損失引当金		467	497
貸倒引当金	△	157	112	その他		2,673	2,450
<b>固定資産</b>		<b>15,149</b>	<b>15,630</b>	<b>固定負債</b>		<b>5,437</b>	<b>5,516</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>12,244</b>	<b>12,266</b>	再評価に係る繰延税金負債		1,523	1,523
建物・構築物		7,599	7,609	退職給付引当金		3,494	3,582
機械、運搬具及び工具器具備品		10,058	10,167	役員退職慰労引当金		241	225
土地		9,050	9,049	資産除去債務		86	86
リース資産		137	163	その他		92	99
建設仮勘定		7	85	<b>負債合計</b>		<b>49,198</b>	<b>39,131</b>
減価償却累計額	△	14,608	14,809	<b>株主資本</b>		<b>16,704</b>	<b>15,727</b>
<b>無形固定資産</b>		<b>35</b>	<b>36</b>	資本金		4,218	4,218
<b>投資その他の資産</b>		<b>2,869</b>	<b>3,327</b>	資本剰余金		8,110	8,110
投資有価証券		1,139	1,491	利益剰余金		4,435	3,458
破産更生債権等		2,127	2,041	自己株式	△	60	60
繰延税金資産		178	182	<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>1,434</b>	<b>1,415</b>
その他		1,552	1,652	その他有価証券評価差額金		89	80
貸倒引当金	△	2,128	2,041	土地再評価差額金		1,560	1,560
<b>資産合計</b>		<b>67,338</b>	<b>56,274</b>	為替換算調整勘定	△	215	226
				<b>少数株主持分</b>		<b>0</b>	<b>0</b>
				<b>純資産合計</b>		<b>18,139</b>	<b>17,143</b>
				<b>負債純資産合計</b>		<b>67,338</b>	<b>56,274</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高		38,014	38,581
売上原価		35,026	35,987
売上総利益		2,988	2,594
販売費及び一般管理費		3,204	3,235
営業損失(△)		△ 215	△ 641
営業外収益			
受取利息		2	1
受取配当金		7	7
持分法による投資利益		8	-
貸倒引当金戻入額		11	1
スクラップ売却益		7	5
その他		21	14
営業外収益合計		58	30
営業外費用			
支払利息		49	42
持分法による投資損失		-	10
為替差損		126	32
支払保証料		21	26
その他		10	9
営業外費用合計		208	121
経常損失(△)		△ 365	△ 732
特別利益			
固定資産売却益		19	0
ゴルフ会員権償還益		86	-
投資有価証券売却益		-	3
その他		4	-
特別利益合計		110	3
特別損失			
固定資産除売却損		94	5
災害による損失		23	-
その他		12	-
特別損失合計		130	5
税金等調整前四半期純損失(△)		△ 385	△ 733
法人税、住民税及び事業税		58	171
法人税等調整額		△ 140	△ 9
法人税等合計		△ 81	161
少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△ 304	△ 895
少数株主利益		-	0
四半期純損失(△)		△ 304	△ 895





◆商号 株式会社ピーエス三菱  
P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.

◆設立 昭和27年3月1日

◆資本金 4,218,500,000円

◆従業員数 単体：1,069名  
連結：1,502名

◆本社・支店

- 本社 〒104-8215  
東京都中央区晴海二丁目5番24号  
(03) 6385-9111
- 東京土木支店 〒104-8572  
東京都中央区晴海二丁目5番24号  
(03) 6385-9511
- 東京建築支店 〒104-8572  
東京都中央区晴海二丁目5番24号  
(03) 6385-9611
- 東北支店 〒980-0811  
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル  
(022) 223-8121
- 名古屋支店 〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル  
(052) 221-8486
- 大阪支店 〒530-6027  
大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー  
(06) 6881-1170
- 広島支店 〒730-0036  
広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル  
(082) 240-7011
- 九州支店 〒810-0072  
福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル  
(092) 739-7001

◆役員

取締役および監査役

代表取締役社長	勝 木 恒 男
代表取締役副社長	杉 本 武 司
代表取締役副社長	田 中 哲 哲
取締役	森 拓 也
取締役	権 藤 智 丸
取締役	山 本 晶 彦
取締役	上 村 清 道
取締役	藤 井 敏 道
取締役	鳥 井 博 康
常勤監査役	森 岡 一 彦
常勤監査役	中 田 俊 一
常勤監査役	井 岡 幹 雄

(注) 取締役上村 清、藤井敏道、鳥井博康の3氏は社外取締役であります。  
監査役森岡一彦、井岡幹雄の両氏は社外監査役であります。

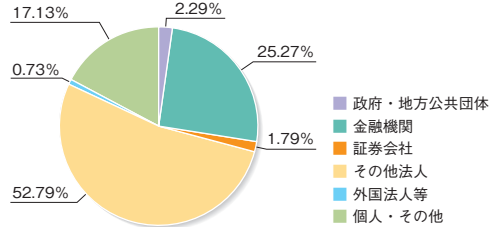
執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社長執行役員	勝 木 恒 男
※ 副社長執行役員 (土木本部長)	杉 本 武 司
※ 副社長執行役員 (建築本部長)	田 中 哲 哲
※ 常務執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当 兼海外事業担当)	森 拓 也
※ 常務執行役員 (管理本部長・CSR担当)	権 藤 智 丸
常務執行役員 (大阪支店長)	蔵 本 修
常務執行役員 (東京建築支店長)	不 動 正 廣
※ 執行役員 (建築本部副本部長)	山 本 晶 彦
執行役員 (九州支店長)	伊 藤 博 通
執行役員 (建築本部副本部長)	戸 潤 隆
執行役員 (東京土木支店長)	塚 原 明 彦
執行役員 (建築本部副本部長)	小 長 光 公 和
執行役員 (土木本部副本部長兼原子力室長)	鈴 木 義 晃



- ◆発行可能株式総数 11,000万株
- ◆発行済株式の総数 40,165,429株
- ◆株主数 6,936名

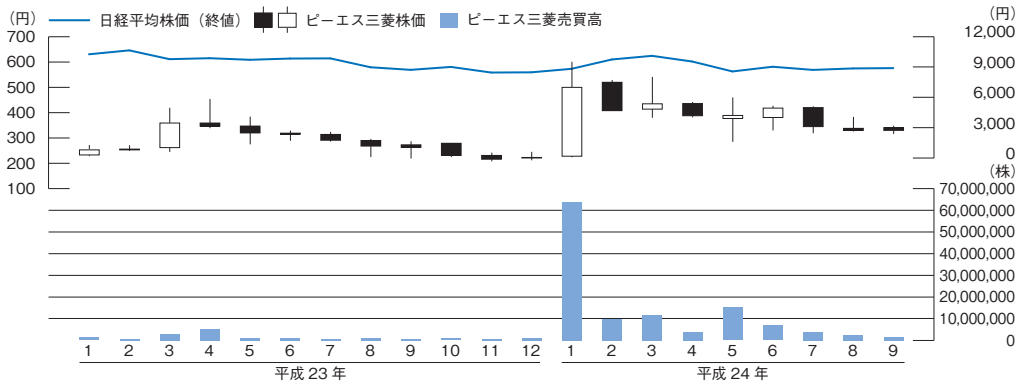
### ◆所有者別株式保有状況



### ◆大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出資比率
三菱マテリアル株式会社 (内 A種種類株式)	15,945,496株 (3,642,858)	39.70% (9.07)
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	11.18
株式会社三菱東京UFJ銀行 (内 A種種類株式)	1,992,667 (1,864,571)	4.96 (4.64)
三菱UFJ信託銀行株式会社 (内 A種種類株式)	1,954,461 (1,902,871)	4.87 (4.74)
住友電気工業株式会社	1,834,800	4.57
岡山県	839,740	2.09
三菱地所株式会社	496,000	1.23
ピーエス三菱従業員持株会	437,595	1.09
株式会社大林組	400,000	1.00
ピーエス三菱取引先持株会	384,460	0.96

### ◆日経平均株価・株価・売買高の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同総会議決権行使株主 確定日	3月31日
■期末配当金受領株主 確定日	3月31日
■中間配当金受領株主 確定日	9月30日
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.psmic.co.jp/">http://www.psmic.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
■上場証券取引所	東京証券取引所
■単元株式数	100株

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



### コーポレートマーク

生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。